



東大オープンキャンパスの様子



『山東探究塾 成果発表会』

山形東高 同窓会 会報

第71号
平成31年4月20日

【発行所】 〒990-8525 山形市緑町1-5-87
山形東高同窓会事務局
TEL・FAX (023) 631-7501
【URL】 <http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp/>
【E-mail】 info@yamatoudousoukai.com
【発行人】 渡辺 季子
【印刷所】 坂部印刷(株)TEL (023) 631-2056

探究科スタート!!

「音波の酵母菌への影響」、「アフリカの水問題の解決に向けた水質の検証方法について」、「模擬国連とユネスコ創造都市」。これまでの探究活動の成果を生徒たちが次々に発表していきます。工夫を凝らした、堂々たるプレゼンテーションです。

これは『山東探究塾 成果発表会』の様子です。探究科の設置に向けて、3年前に『山東探究塾』を先行して立ち上げました。次世代のリーダーを目指し、開塾以降、多くの生徒が『山東探究塾』に参加して探究活動を行っています。

そして、いよいよ平成30年度、本校に探究科が設置されました。より深い学びを通し、多様化、そしてグローバル化する社会で活躍できるリーダーを育成するという目的があります。また、大学入試の改革が進み、「どのように学んだか」を重視する傾向が強まっており、高校生活の中で自主的、主体的に探究的活動を行うことが求められています。探究科では、思考力・判断力・表現力と主体的・協働的に学ぶ姿勢を育て、理数科目や英語の学校独自科目を設定するなどして、より高い学力を養成し、修得した力を授業で活用できるようにカリキュラムが組まれています。

1年次の活動の中心は、探究学習に必要な技能の習得と、2年次に行う本格的な研究活動のテーマを決めることです。主に総合的学習の時間を活用して、LHRと連動しながら情報検索と整理の仕方、ディスカッション、ディベートなどの議論や話し合いの仕方、そしてプレゼンテーションなどの発表の技術を身につけます。スキルを身につけると同時に、文理幅広く、多様な事柄について学び、最終的に理数探究科または

国際探究科を選択して2年次に本格的な探究活動を行います。3年次には、理数探究科は科学オリンピック(物・化・生・数)などへの参加を目指すとともに、個人やグループで研究発表を行います。国際探究科では、身近な地域の問題から世界的な問題まで、グローバル双方の視点から活動を行って研究発表を行います。

設置初年度である今年度は、4月の蔵王入門合宿で、探究活動に必要な「デザイン思考」を学ぶことからスタートしました。5月には、山形県の現状と課題を全員の共通テーマとして活動実践を行い、実際に探究スキルを駆使して、『課題の設定—情報の収集—整理・分析—まとめ・表現』という探究活動の基本的なサイクルにグループワークで取り組みました。大学訪問(東北大学訪問(6月)、東大オープンキャンパス参加(希望者))では学部学科の詳細や大学における研究の奥深さを知り、探究活動が進学と密接に関わっていることを認識しました。後期に入ると、様々な分野の方から講演をいただいて幅広い知識を得るとともに、それぞれが関心を持つ分野について仲間とディスカッションを重ねています。実際に周囲の町に足を運んで問題点を探すフィールドワークも行いました。現在、各自の研究テーマの決定に向けて積極的に活動を行っています。

普通科、探究科ともに、山形東高の校是である文武両道・質実剛健・自学自習を実践し、授業中心主義を貫いて高い学力を身につけるといふ点についてはこれまでと全く変わりありません。探究科では「自ら課題を設定し、身につけた探究活動の技能を駆使して、主体的、協働的に解決に取り組む力」を養い、一回りスケールの大きい山東生を育てていきます。加速的に変化していくこれからの社会において、解決すべき問題に気づいて自ら取り組んで解決する力を持ち、地域社会、企業、そして日本の将来を切りひらくリーダーとして活躍する人材を、一人でも多く輩出できるよう取り組んで参ります。

工藤 淳(継世会)



第10代会長
浜田 敏
(山東17回・六七会)

浜田会長から **役員改選** 高橋会長へ

同窓会設立81年目、新体制でスタート



第11代会長
高橋 一夫
(山東21回・四六会)

退任のご挨拶

皆様には益々御清祥のこととお慶び申し上げます。また同窓会に対しご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。

私は本年3月をもって会長を退任いたしました。皆様の長い間のご支援に対し心から御礼を申し上げます。振り返ってみますと昭和61年に評議員に就任して以来長い間同窓会に関わって来ました。最後の4期8年は会長として深く関わり、我ながら「同窓会男子」であると感心しております。

会長として印象に残っていますことは平成26年の母校創立130周年記念事業の一つとして「東日本大震災と山形東高校の生徒・同窓生の記録」を作成し発表会とコンサートを開いたことです。山形東高校ならではの生徒参加型の文化的教育的事業を行うことができたと思っております。

さて、同窓会への維持会費の納入状況などを見ますとシルバー世代を除いて母校への愛校心が希薄化していることが懸念されます。同窓会としてはここが踏ん張り時です。高橋一夫新会長をはじめとする新執行部そして評議員の皆様のご活躍を期待しております。会員の皆様には高橋新会長に対しても引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

悠久の山形東高校そして同窓会の歴史と伝統を未来に繋いでいきましょう。

結びに、母校の益々のご発展と会員諸氏のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして退任の挨拶と致します。

新任のご挨拶

今年の4月から山東同窓会会長を仰せつかりました高橋一夫と申します。前会長の浜田敏氏と同様、同窓会会則第3条の「本会は母校の隆盛を念として会員の親睦を図る事を目的とする。」という定めを念頭に置き、会の運営を行ってまいります。

本校卒業生は、入会式を機に本会員となり、各学年の代表者が評議員に、そして評議員は評議員会を組成し会員の中より役員を選出します。このような仕組みで山東同窓会が成り立っておりますが、人員数からみると、生存している会員数は平成31年1月現在21,007名いる一方、住所の判明している会員数は16,514名にとどまっております。山東同窓会の潜在的な人的パワーは相当なものです。それを顕在化するのは容易ではありません。

浜田敏前会長が「会員名簿」の挨拶で述べられている通り、「山東同窓会は一つの絆としての再会の場であり親睦を深め、さらに山形東高を支援していくためにある。」と私も認識しております。ぜひ、会員の皆様が互いに声掛けをして山東同窓会を「楽しく」かつ「味わい深い」ものにしていただければと願っております、特に若い会員に。

それでは、職責を果たせるよう努めますので、どうぞよろしく願いいたします。



副会長(昇任)
高橋 修
(山東27回・東紋会)

お世話になっております。有難うございます。山東27回卒高橋修でございます。この4月から副会長という大役を仰せつかり、その責任の重大さを痛感しております。微力ではございますが、山形東高同窓会のため、そしてこれからの山形東高のため、精励して参ります。今後ともご指導の程、宜しく願い申し上げます。



副会長(昇任)
桂木 宣均
(山東29回・共一会)

この度、副会長を拝命いたしました。浜田敏前会長の下での幹事長時の経験を活かし、高橋一夫新会長を支え、山形東高同窓会活動の一層の充実のため微力を尽くす所存であります。

同窓会会員皆様のご指導を切にお願い申し上げます。



幹事長(昇任)
高橋 勝幸
(山東30回・東翔会)

この度、幹事長を拝命いたしました昭和55年卒の高橋勝幸でございます。

若輩ではありますが、高橋一夫新会長を微力ながらお支えし、同窓会発展の為、力を尽くして参る所存でございます。ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。



ごあいさつ

校長 佐藤 俊一

同窓生の皆様には、日ごろ本校の学校運営・教育活動にご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

お陰様で、本校は今年創立135年目を迎えます。生徒

たちは、校是である「文武両道」「質実剛健」「自学自習」を堅持し、日々学業に部活動に、そして社会参加活動等に意欲的に取り組んでおります。

本校は、昨年4月に新学科・探究科2クラスを設置し、普通科も含めて学校全体で「探究型学習」を推進しているところです。東北大学、東北芸術工科大学に加え、このたび山形大学とも連携協定を結ぶなど、外部機関の協力もいただいているところです。兼部可能の「探究部」を新設したり、浜田前同窓会長から寄贈いただいた「探究賞」を励みに、授業・課外を問わず様々な探究活動を行っておりますが、生徒たちの中に、積極的に外部に出て学習したり発表したりしようという姿勢が見えてきたことは、一つの収穫だと考えております。

平成も終わりを告げ、新しい時代が始まります。変化が激しく、先行きが見通しにくい社会において、探究心を持ってたくましく時代を切り拓いていく有為なる若者の育成に、職員一同精一杯努めてまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、山東同窓会の今後ますますのご発展を心から祈念し、あいさつといたします。

2018年度 予算執行状況

(2018年4月1日～2019年1月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額			収入済額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	6,900,000	△ 442,000	6,458,000	3,857,000	ゆうちょ銀行1,375件、コンビニ867件
入会金	1,205,000	0	1,205,000	1,205,000	5,000円×241人
積立金より	0	0	0	0	
繰越金	380,316	0	380,316	380,316	
雑収入	400	△ 387	13	13	利子
合計	8,485,716	△ 442,387	8,043,329	5,442,329	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額			支出済額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	90,000	△ 8	89,992	89,992	資料印刷、案内送付費等
会議費	600,000	△ 130,000	470,000	282,877	役員会、評議員会
表彰費	500,000	△ 57,808	442,192	442,192	表彰状、喜寿記念品6,000円×50人等
会報発行費	3,000,000	41,586	3,041,586	2,091,586	16,700部会報印刷、送付費
通信費	120,000	0	120,000	99,722	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	△ 20,000	120,000	44,822	慶弔電報、香典、饞別
諸手当	50,000	△ 20,000	30,000	30,000	事務補助費
生徒活動 援助費	300,000	△ 160,000	140,000	140,000	全国大会出場激励お祝い
奨励費	30,000	△ 5,000	25,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
連絡費	740,000	△ 201,919	538,081	538,081	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費等
資料整備費	40,000	0	40,000	40,000	資料展示用品、写真額装代
事務費	1,370,000	△ 40,000	1,330,000	1,129,376	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	0	1,100,000	0	山東教育後援会へ
積立金	50,000	△ 50,000	0	0	
振込料金	290,000	△ 24,000	266,000	146,070	ゆうちょ銀行、コンビニ
予備費	65,716	224,762	290,478	0	
合計	8,485,716	△ 442,387	8,043,329	5,074,718	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

2019年度 予算(案)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
維持会費	6,600,000	6,900,000	△ 300,000	
入会金	1,185,000	1,205,000	△ 20,000	5,000円×237人
積立金より	0	0	0	
繰越金	290,000	380,316	△ 90,316	
雑収入	400	400	0	
合計	8,075,400	8,485,716	△ 410,316	

支出の部

(単位：円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
総会費	90,000	90,000	0	資料印刷、案内送付費等
会議費	500,000	600,000	△ 100,000	役員会、評議員会
表彰費	500,000	500,000	0	表彰状、記念品
会報発行費	3,000,000	3,000,000	0	16,700部会報印刷、送付費
通信費	120,000	120,000	0	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	140,000	0	慶弔電報、香典、饞別
諸手当	30,000	50,000	△ 20,000	事務補助費
生徒活動 支援費	300,000	300,000	0	全国大会出場激励お祝い
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
連絡費	600,000	740,000	△ 140,000	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費
資料整備費	30,000	40,000	△ 10,000	資料保存費等
事務費	1,300,000	1,370,000	△ 70,000	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	1,100,000	0	山東教育後援会へ
積立金	0	50,000	△ 50,000	
振込料金	270,000	290,000	△ 20,000	ゆうちょ銀行、コンビニ
予備費	65,400	65,716	△ 316	
合計	8,075,400	8,485,716	△ 410,316	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

一維持会費の振込みは、郵便局ATMかコンビニで一括して一

今年度は振込料金の一斉値上げにより、実収入の大幅な減少が避けられません。振込みの際はぜひ、料金(同窓会が負担)が少ない郵便局のATMかコンビニをご利用下さい。

郵便局の窓口(130円→200円)・ATM(80円→150円) コンビニ(120円→150円)

ご家族など複数の場合、「郵便局」専用振込用紙の「通信欄」にそれぞれの氏名・卒業年・金額を列記し、合計金額を一括してお振込み下さい。ゆうちょ銀行の通帳をお持ちの方は、電信振替(料金月1回まで無料)のご利用もご検討下さい。

平成30年度同窓会まつり

五六会（山東31回）・東魂会（山東53回）

平成最後の同窓会総会・表彰式並びに同窓会まつりは、10月13日土曜日、山形市のホテルメトロポリタン山形を会場に、会員558名、来賓121名の計679名を迎えて盛大に開催されました。

総会ではまず物故会員に黙祷を捧げ、平成29年度の事業報告と決算、平成30年度の事業計画と予算が承認されました。その後昨年に引き続き、「奉公旗」の修復保存作業の様子が報告され、作業後の具体的な展示日程が発表されました。

表彰式では国歌斉唱ののち、永年勤続職員である中村辰彦様、遠藤正淑様、井上朋子様、松浦のみ子様4名に感謝状が贈呈され、続いて同窓会功労者として、元体育部OB会会長の青山恵一郎様と元文化部OB会会長の野々村政昭様の表彰が行われました。最後に喜寿会員の皆様に記念品が贈呈され、代表して東士会の高山克英様よりご挨拶を頂きました。

まつりでは校歌が斉唱されたのち、同窓会長の浜田敏様、そして御来賓代表として現在の山形東高校長の佐藤俊一様にご挨拶を頂きました。続いてトリオ・アラモーレによる演奏、チェロ担当の増川大輔さんは山東44回卒の東鵬会、ソプラノとピアノの女性2名も山東とゆかりの深い方々でした。3曲演奏されましたが、最後の「トゥーランドット・ファンタジー」は、プッチーニの同名の歌劇内の有名なアリアNessun dormaを大団円に直接連結し、普段クラシックに馴染みのない人間にも聴きやすいような大胆な編曲がなされていた点が心に響きました。

乾杯の御発声は山東17回六七会の結城章夫様、後はもう飲めや歌えの大盛り上がりで山形の秋の夜は更けて行きました。

最後に来年後の当番幹事である山東32回榎音会と山東54回東粹会の皆様にご挨拶頂き、全員による「おお勝利」で喉を枯らし、山東12回東睦会の大山正征様の御発声のもとに、全員で万歳三唱を行ってお開きとなりました。

今年の当番幹事は、全員五十肩で万歳三唱に腕が上がっていなかった山東31回の五六会と、まだそんなことはない山東53回の東魂会が務めました。至らない点多かったと思いますが、どうか御寛恕頂きたく存じます。準備に際しまして御協力頂きました事務局の皆様、昨年の当番幹事ならびに各学年の評議員の皆様には厚く御礼申し上げます。

(五六会 深水黎一郎 記)



平成30年度 同窓会表彰式<<同窓会功労者>>

あお やま けいいちろう
青山 恵一郎 氏
 (山東2回・東友会)



平成13年から7年間にわたり体育部OB会長を務められ、会員の親睦と組織の強化にご尽力されるとともに、母校の体育行事や壮行式では、甲子園5回出場を誇る山形中学野球部の心意気を伝えるべく、生徒達を熱く激励されてきました。また昭和58年から32年間にわたり、母校の松田杯等審議委員を務められ、心身の調和のとれた山東生を育むべく体育活動・文化活動の向上と奨励に寄与されました。

ののむら まさ あき
野々村 政昭 氏
 (山東11回・東土会)



平成12年から12年間にわたり文化部OB会長を務められ、城下町山形の文化交流の伝統を支えてこられた豊かな経験と知識を生かして、文化部OBによる新たな文化の創造と交流に力を注がれてきました。また平成9年から15年間にわたり、母校の松田杯等審議委員として文武両道の奨励に務められるとともに、生徒の文化活動を多岐にわたり支援されるなど、教育活動にもご貢献されました。

長年にわたる同窓会活動と母校の教育活動に対するご貢献に対し、
 深甚なる敬意と感謝を込めてお二人に賞が贈られました。

長年にわたる同窓会活動と母校の教育活動に対するご貢献に対し、
 深甚なる敬意と感謝を込めてお二人に賞が贈られました。

平成31年度

同窓会総会・表彰式・まつり

今年は11月の開催で総会は5時開始
 どうぞご注意ください

- ◆ 日 時：平成31年11月2日(土)
 総会は午後5時より
- ◆ 会 場：ホテルメトロポリタン山形
- ◆ チケット：5,000円(予定)
 購入は各学年の評議員(同窓会役員欄を参照)にお申し込み下さい
- ◆ 当番幹事：槌音会(山東32回)
 東粋会(山東54回)



最後の同窓会まつり(東土会)

私たち東土会は、昭和36年第11回(土)卒業です。
 何かの縁を感じますが、平成最後の同窓会まつりに喜寿の会を迎え無事に祭りを卒業することになりました。

これまで2回、当番幹事として先輩方の喜寿のお祝い会を経験し、さて自分たちがその立場になった時どのような思いをするだろうかと気懸りでしたが、無事終わってみて意外にさばさばしていることに驚いております。

それよりも、同期卒業でありながら卒業以来初めて顔を合わせる方が何人かおり、「もうこのような機会がおとずれることがないと思うので思い切って参加した」と口々に言っているのを聞き、長い伝統を引き継いできたこの会の重さを改めて感じました。

まつりに先立ち表彰式があり、野々村政昭君が昨年の高山克英君に引き続き同窓会功労者表彰の栄を受けました。

佐藤俊一校長からは、本年度から導入された「探究科」について話があり、これからの生徒育成に関する期待値が大きく頑張って指導していくことでした。

まつり終了後、場所を改め東土会喜寿の会を開催し、恩師の先生を始めこれまで私共を育てていただいた皆様方に感謝しながら杯を高々と掲げ歓談しました。

長年ありがとうございました。

(山田 彰一 記)



ホテルメトロポリタン山形にて

母

校

文武両道

近

況

おもな大学の合格状況

成節会 (平成31年3月卒業)

2021年度入試からは「センター試験」→「共通テスト」へと変わる。共通テストに向けた新傾向の問題も見られたが、センター試験も残すところあと1年。大きな出題傾向の変化は見られず、平均点も堅調であった。

センター試験の全国的な平均点をみると、難関大合格の目安となる得点率8割を超える成績層が文系型、理系型ともに増加した。900点満点での予想平均点も2012年以降で最も高くなった。年によって、教科・科目の難易度はやや変化するが、難関大合格のためには、まずセンター試験で万遍なく得点することが必要である。

本校の合否状況の概況は次の通りである。東大は、現役

合格5名、過年度合格4名であった。現役では文科の合格者が5名で、理科の合格者はなかった。現役は18名が挑んだが、理科が厳しい状況であった。東北他県の高校では、文科よりも理科の合格者が多い。理科の合格者を増やすことが課題。東北大については現役34名、過年度卒14名。今年度はAOⅡ・Ⅲ入試合わせての合格者が現役で12名であった。前期入試では、関東からの合格者が増えており、難易度は高止まりの傾向である。山医学科については、現役で一般推薦(センター試験必要)合格者は1名、前期一般枠と地域枠あわせ2名、後期1名で計4名の合格。過年度卒の合格は12名であった。過年度卒で京大医学科合格したが、数十年の過去の資料をさかのぼっても先輩の合格者は見いだせなかった。近年、現役の東北大医学科合格者も複数おり、健闘している。主な大学の合格者(現役・過年度)は北大6・筑波2・一橋大1・東工大1・千葉大9・名大1・新潟大25・金沢大6などである。

平成30年度(成節会) 大学合格者数(延人数) 単位:人 ※現役合格のみ

【国立大学】

大 学	人 数
北 海 道	3
北海道教育	1
弘 前	3
岩 手	3
東 北	文 7
	教 0
	法 1
	経 7
	理 2
	医 2
	保 2
	歯 2
	薬 0
	工 9
	農 2
全 34	
宮 城 教 育	3

大 学	人 数
山 形 医 全	4
山 形 全	18
福 島	1
茨 城	2
筑 波	1
宇 都 宮	2
埼 玉	8
千 葉	7
お 茶 の 水	1
東 京	文 5
	理 0
計	5
東 京 医 歯	1
東 京 海 洋	1
東 京 学 芸	2
東 京 工 業	1
一 橋	1

大 学	人 数
横 浜 国 立	3
新 潟 潟	24
金 沢	6
福 井	1
信 州	1
名 古 屋	1
広 島	1

【公立大学】

大 学	人 数
前 橋 工 科	1
新 潟 県 立	1
新 潟 県 立 看 護	1
静 岡 県 立	1

【私立大学】

大 学	人 数
東 北 学 院	4
東 北 福 祉	1
東 北 芸 工 大	3
自 治 医 科	1
青 山 学 院	1
慶 應 義 塾	7
上 智	1
中 央	9
東 京 女 子	1
東 京 理 科	9
日 本 女 子	3
法 政	10
明 治	7
立 教	2
早 稲 田	8
同 志 社	2
立 命 館	2
そ の 他	45

【文部科学省管轄外】

大 学	人 数
国立看護大学校	1

【海外大学】

大 学	人 数
North Central College	1

【計】

大 学	人 数
国 立 大 学	135
公 立 大 学	4
私 立 大 学	116
(国公立医学科)	7
(私立医学科)	1
合 計	255

全大学の合格者数は山形東高校のホームページ (<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>) の「進路指導」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

体育・文化活動総況

近年の部活動について、「各部で顧問の指導の下、生徒が創意工夫し主体的に活動し、その結晶として全国大会の出場を勝ち取っている」ということができます。

毎年設定する、学校の数値目標の中に「部活動等の全国大会出場が団体5種目以上、個人10人以上を目指す」というものがあります。部活動強化の観点から、毎年6月、前期中間考査の最終日にトレーニング講習会を実施し、1・2年生の新体制になった活動をフォローするため、講師には山東OBにも入っていただき、体幹トレーニングとシンスプリント予防講習会を実施していることも、数値目標を過去6年前から達成している要因であります。また、集団スポーツ体育部の全国大会出場が平成4年サッカー部のインターハイ出場から途絶えているため、平成27年から毎年2月、集団スポーツ体育部競技大会を実施し、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、男子ハンドボール部、野球部で体力テストを行い、順位を決め、冬期トレーニングの成果とシーズンに入ってからの方針を確認し、全国大会につなげようとしています。

平成30年を境に、部活動が大きく変化しようとしています。スポーツ庁が平成30年3月に策定した「これからの運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に則り、平成30年12月に「山形県における運動部活動の在り方に関する指針」が策定されました。休養日を週当たり2日以上、平日1日以上かつ土曜日及び日曜日のうち1日は休養日を取る。活動時間は平日2時間程度、休日等3時間程度(準備・片付け時間は除く、また、大会・練習試合・合宿・遠征等は除く)となり、目標とする大会前の強化期間については、少なくとも週1日の休養日を設けたうえで、もう1日の休養日を振替え、年間計画に示す。活動時間は平日3時間程度、休日4時間程度にすることができるというものです。本校もこれに則り「山形東高校体育部活動方針」を策定し、文化部も同様に活動することになります。決められた時間で成果を出してきている山形東高校の今までの部活動から考えると、追い風とらえ新たな年号になってからの更なる部活動の成果を期待しています。今後とも同窓会の皆様の物心両面のご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年度 松田杯等四賞

《松田杯》テニス部

平成30年度の主な成績

県高校総体 男子団体 第2位・女子団体 第1位
東北高校選手権 男子団体 ベスト8・女子団体 第3位
全国高校総体 女子団体 出場
県新人大会 男子団体 第3位

《鈴木杯》佐藤 夏央 (テニス部)

平成30年度の主な成績

県高校総体 女子個人シングルス 第1位 (3連覇)
女子個人ダブルス 第2位
東北高校選手権 女子個人シングルス 第3位
女子個人ダブルス ベスト8
全国高校総体 女子個人シングルス 出場
全日本ジュニアテニス選手権 18歳以下女子シングルス 出場

《矢野牌》演劇部

平成30年度の主な成績

第50回全国高等学校演劇大会
奥山諒太郎・山形東高校演劇部作「ガブリエラ黙示録」
舞台美術賞・優良賞

《駒草杯》竹村 朝 (囲碁将棋部)

平成30年度の主な成績

全国高等学校総合文化祭囲碁部門 山形県予選 個人 優勝
文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権 個人 出場 (1勝2敗)
全国高等学校総合文化祭囲碁部門 個人 出場 (3勝3敗)

同窓会特別賞

《中村賞》 土岐聡一郎
《木村賞》 佐藤 夏央
《探究賞》 金村 稜
《山形東高同窓会賞》 今 立樹
《山形中学校東高東京同窓会賞》 小関 愛実
《山形東高仙台同窓会賞》 平間 嘉一

※探究賞とは…浜田敏氏(山東17回卒・第10代同窓会長)のご尽力により、平成30年度に探究科が設置されたことを記念して設けられた。探究型活動で活躍がめざましく功績顕著であり、品行方正なるもの(個人・団体を問わない)に賞状と副賞が授けられる。

体育部

平成30年度の各部の主な成績をご報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

■全国高校総体(インターハイ)

フェンシング 男子個人エペ 結城 右京 ベスト32
男子個人サーブル 齊藤 丈 ベスト32
女子個人サーブル 新野まどか ベスト32
テニス 男子個人複 佐藤 渉・田村 翔 出場
女子団体 佐藤 夏央 出場
女子個人単 佐藤 夏央 出場
水泳 男子100m平 片桐 光貴 出場

■全日本ジュニアテニス選手権大会

テニス 18才以下女子単 佐藤 夏央 出場

■国民体育大会

テニス 少年女子 奥山えりか 出場

■全日本フェンシング選手権大会

フェンシング 男子個人サーブル 齊藤 丈 出場
女子個人サーブル 新野まどか 出場

■JOC国内選考会

フェンシング カデ男子エペ 佐藤 昌太 出場
カデ男子サーブル 成澤 琉希 出場
カデ女子サーブル 伊東 凛 出場

■東北高校選手権大会

テニス 男子団体 ベスト8
男子個人複 佐藤 渉・田村 翔 ベスト8
女子団体 第3位
女子個人単 佐藤 夏央 第3位
女子個人複 佐藤 夏央・黒沼 愛生 ベスト8
フェンシング 男子団体 ベスト8
男子フルーレ 結城 右京 出場
男子個人エペ 結城 右京 出場
相原 怜音 出場
男子サーブル 齊藤 丈 第7位
早坂 拓能 出場

女子個人サーブル 佐藤 亮介 出場
高橋 美帆 出場
新野まどか 出場
ハンドボール 女子団体 齋藤 恒 出場
陸上 男子八種競技 石本 早紀 第11位
女子走幅跳 石本 早紀 出場
女子団体 第5位
ソフトテニス 女子個人 三宅 亜依・高橋 花繪 出場
男子4×100mMR 三宅 亜依・高橋 花繪 出場
男子4×200mR 三宅 亜依・高橋 花繪 出場
男子100m平 片桐 光貴 第3位
長岡 勇大 出場
井上 凱 出場
井上 凱 出場
男子200mバタ 瀧口 陽貴 出場
阿曾 晴希 出場

■東北高校新人大会

陸上 女子三段跳 石本 早紀 第6位
水泳 男子400m自 土田 有馬 出場

■東北ジュニアテニス選手権大会

テニス 18歳以下男子S 佐藤 渉・田村 翔 出場
18歳以下女子S 佐藤 夏央 第3位
黒沼 愛生 出場
佐藤和歌葉 出場
佐藤 夏央 出場
黒沼 愛生 出場
佐藤和歌葉 出場
16歳以下男子S 高橋 勲平 出場
16歳以下女子S 奥山えりか 出場
16歳以下男子D 高橋 勲平 出場
16歳以下女子D 奥山えりか 第3位

文化部

■全国大会

全国高等学校総合文化祭 演劇 演劇部門 奥山諒太郎・山形東高校演劇部「ガブリエラ黙示録」 優良賞・舞台美術賞
囲碁・将棋 囲碁部門 男子個人 竹村 朝 出場
将棋部門 男子団体 矢澤 灯・高島 蒼・土門 匠 出場
全国高等学校囲碁選手権大会 男子個人 竹村 朝 出場

NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門 峯田 あみ 出場
テレビドキュメント部門 「BEST BUDDY~昨日の敵は今日も敵~」 出場
創作テレビドラマ部門 「Missing One」 出場

※誌面の都合上、東北大会以上の成績を掲載しています。

部活動成績の詳細は、山形東高校のホームページ(http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp)の「山東通信」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

■東北大会

全日本吹奏楽コンクール東北大会 高等学校の部 銅賞
東北地区高等学校囲碁選手権大会
全国高等学校囲碁選抜大会東北地区予選大会 第3位
東北地区高等学校将棋新人大会 松本 咲重 第2位
牛乳・乳製品料理コンクール東北大会 山本 りさ 優秀賞
伊藤 碧子 優良賞

創立134周年記念式典記念公演 齋藤 保氏

IHIイノベーション、過去、現在そして未来へ



講師プロフィール

1952年	山形市宮町生まれ
1971年	山形東高卒業
1975年	東京大学工学部卒業 石川島播磨重工業(現IHI)入社
2012年	代表取締役社長 (兼)最高経営執行責任者
2016年	代表取締役社長 (兼)最高経営責任者
2017年	代表取締役会長

イノベーションの本質

まずイノベーションとは何かについてお話いたします。(写真を示して)アメリカのニューヨーク州五番街、1900年5月のイースター祭の写真です。周りは皆馬車なんですけど、1台だけ自動車が出ています。実はこの日は、フォードが開発したT型フォードのお披露目の日でもありました。それからたった13年のうちに馬車は駆逐されます。1913年には、道は車で埋め尽くされています。

もうひとつの事例はパチカンで法王のお話を聞く聴衆の写真です。2005年に撮影された情景と2013年のものを比べてみますと、あきらかに違います。2013年になるとみなさんスマホで法王の写真を写していますが2008年は誰もスマホを持っている人はいません。

ここで気づいてほしいのは、車は内燃機関と馬車の掛け合わせであること。そしてスマートフォンは携帯電話とデジタルカメラの掛け合わせであること。つまり既存の技術と既存の技術、これを掛け合わせて新たな価値を創り、それまでの人間の行動様式を一変させています。これがイノベーションの本質です。

IHIにおけるイノベーションの軌跡

IHIについてお話いたします。1853年石川島造船所が創設されます。ペリーが軍艦4隻を率いて、浦和に入港し、開国を求めた年です。その時に水戸藩に造船所設立が指示され、当時の東京、石川島に造船所が設立されました。この時に、IHIの歴史が始まり、そして日本の工業化、産業化の歴史がスタートしたということになります。

1866年、日本初の蒸気型軍艦、千代田型が造られます。その後1887年の西南戦争時には、民間造船所初の蒸気船の通運丸が約40隻造られ、そのうち8隻をIHIで造っています。1888年には民間建造最初の軍艦、鳥海が出ています。世界最大の船、大和もIHIの広島の実業造船所で建造された船です。1892年に琵琶湖の疏水の開発事業の一環として建設した、水力発電用のペルトン水車が日本で初めて造られました。1922年には、日本初の乗用車を英国の自動車メーカーのウーズレー社との提携で造りました。以後自動車事業は必ず自動車になってしまいましたが、最初に乗用車を造ったのはIHIです。また、日本初の国産ジェットエンジン「ネ20」が出来たのが1945年で、搭載機は橘花でした。この当時ジェットエンジンを創れる国は、イギリス、ドイツ、日本の3カ国しかありませんでした。ロケット戦闘機には秋水という機体もあります。この秋水は、実は山形県で造られていました。造っていたのは現在日本飛行機という会社の、当時の山形工場です。場所は今の山形西高です。ここで赤とんぼと呼ばれた練習機と秋水が造られていました。1956年、世界初の大型の球形のガスホルダーが、東京ガスの世田谷の整圧所に設置されました。1964年には、日本初の機械式の立体駐車場を高島屋に納めました。IHIはその当時、最新のクレーン技術がありましたので、それを駐車場に応用したものです。これは今でもIHIがトップシェアを占めているプロダクトのひとつです。1966年には、世界最大、かつ史上初めてのV L C C (20万トン級のオイルタンカー) 出光丸が完成しました。1978年にはアマゾンの奥地に世界初の船上のバルブプラントを設置しました。二つの台船にバルブプラントを乗せ、約25,000キロ曳航してアマゾンに持って行きました。そして、バルブ工場として稼働させたのです。当時ブラジルはアマゾン奥地に産業を育成したいという希望を持っていましたが、資材を運ぶための道路も何もありません。どうやって持っていくかを考えた結果、プラントそのものを船に乗せて運ぶという逆転の発想、イノベーションが起こったということです。1999年には世界最長の吊り橋を完成させます。明石海峡大橋です。全長が3,911m、主塔と主塔との間の距離が1,911mになります。主塔の高さは約300mで、東京タワーとほぼ同じ位の高さになります。そして2001年、H2Aロケットの心臓部を作製しました。IHIはもともとジェットエンジン、ターボ機関が得意だったので、ロケットの心臓部のLA7エンジンとLAターボエンジン、およびこれらのターボポンプを作製しています。H2Aロケットの打上げ成功確率は97.8%です。宇宙開発

におけるロケットエンジンは、H1ロケット、それからH2ロケット、そしてH2Aのロケットになりますが、現在はH3のロケットを開発中です。最新型のロケットは、イプシロンロケットです。このイプシロンロケットの最大の特徴は、非常に少ない人数で打ち上げることが出来るということです。サイズがH2Aほど大きくありませんので、場所を選ばず打ち上げることが可能な造りになっています。今後の衛星需要に対応するために開発した、イノベティブなロケットです。AIが段ボールの箱の積み下ろしを効率よく行う、世界初のデパレタイジングロボットや、飛行機の航空エンジンも開発しています。トルコにはイズミット湾横断橋という大変イノベティブな工法を採用した橋を建設しました。トルコは日本と同じように地震国です。ちょうど、イズミット湾横断橋が掛かる所には活断層があります。この断層を克服して地震に強い橋を造るために、この橋は土台を固定せず、揺れたらそのまま滑るという形の構造を取っています。橋の中央の主塔には制震装置も付いており、それで構造物自体の揺れも吸収する構造になっています。

これからの社会とイノベーション

私は今、IHIのメンバーと地方からイノベーション創成が出来ないかというプロジェクトをやっています。イノベーションは都会からしか起こらないわけではありません。2011年に発生しました東日本大震災、あの時、日本の製造業は、非常に大きい危機に直面しました。様々な工業製品を構成する多くの部品あるいは機械が、東北地方で生産されていたために非常に苦しんだわけです。中央の企業の優れた技術を東北の産業が支えているという実像が浮かび上がってきたというわけです。一方地方には、これからの日本が直面する課題が大きくクローズアップして存在しています。少子化社会ではインフラを維持していくことが難しくなっていく。これもひとつの課題です。このような課題を感じ取れるかどうか、イノベーション創成に繋がる大きな鍵となるわけです。そしてこれをブレイクスルーすることこそが地方からのイノベーションです。

私たちの取り組むイノベーションは日本国内だけではなく、IHIは中国、台湾、インド、東南アジア、シンガポールなど世界各国に拠点を持っています。アメリカでは8つの州に、そしてヨーロッパでは、北欧以外はほとんどの国に拠点があります。いろんな国に拠点があって、異文化コミュニケーションを図りながら私たちはイノベーションを起こそうと活動しています。異文化コミュニケーションとは、英語が話せるであるとか、その国の言語が話せるというだけではなく、その国の文化を理解できているかということまで含みます。各国の法制度も違います。日本にいるような感覚で仕事をしていると、思わぬ落とし穴に掛かることがあります。国の制度であるとか、文化を理解することもイノベーションと繋がっているのです。

山形東高校のみなさんへ

山形東高校、今回134回の創立記念日を迎えた伝統ある学校です。文武両道、質実剛健、自学自習という3つの方針を掲げているわけですが、これらは全てイノベーションに繋がります。イノベーションを起こすに当たって、大事なことのうちの1つが文系と理系の融合、いわゆる文理融合です。文武両道の発想は、文理融合につながります。文系・理系という境界を越えた教養、つまりリベラルアーツを身につけた人がイノベーションを起こすのです。発想を転換し、物事を多様な視点から見て、自分で考え抜く。すなわち自学自習です。そして質実剛健。タフであることが必要になります。是非東高伝統の三原則を守ってください。

最後に一言だけ皆さんにお願いがあります。私は1971年にこの山形東高を卒業しておりますが、3年間の高校生活で、勉強を本当にやったかどうかという話になると疑問に思います。この年齢になりますと、昔ももう少し勉強しておけば良かったと思うことがあります。『少年老い易く学成り難し』です。『一寸の光陰軽んずべからず』ということを皆さんにお伝えして、今日の私の話を終了いたします。

第64回体育部OB会総会

平成31年2月2日土曜日、恒例の体育部OB会総会・懇親会が開催されました。寒い日でしたが、午後3時前から当番幹事であるハンドボール部と剣道部のOBが三々五々顔を見せ始め、午後4時には会場の受付場所は、本番と変わらないほどの熱気にあふれました。行動力のハンドボール部と動員力の剣道部の持ち味がうまくかみ合い、準備がスムーズに進みました。

総会が終了し、功労賞受賞者の記念撮影も終わり、いよいよ現役の応援団による校歌斉唱とエールの開始です。毎年のことながら、活気にあふれたエールでしたが、今年は少し異変がありました。チアガールが女子なのは当然として、ガクランを着て太鼓をたたいている団員も女子だったのです。そして、懇親会が始まり、ハンドボール部OBの男女の司会が何と何とご夫婦だったのには一同驚きました。これは64回の歴史の中で初めてではないでしょうか。

剣道部OB会の倉岡会長の音頭により、各部からの参加者293名と教職員の12名の方々が一つになった乾杯で、とても楽しい時間を過ごし、良い思い出となりました。

(山東24回 剣道部 岩城 慎二 記)



第26回山東文化部OB会総会

平成30年7月20日(金)、山形グランドホテルに於いて「第26回山東文化部OB会総会」が、浜田敏同窓会長はじめ多くの来賓のご臨席のもと多数の会員が集い盛大に開催されました。総会においては、吉田眞一郎会長が議長となり、前年度の事業及び決算報告、そして本年度の事業計画と予算が審議され、可決承認されました。



総会後の記念講演では、これまで各界でご活躍している山東OBの方をお呼びしての公演でしたが、今回は今年度担当の演劇部OB有志によりまず朗読会となりました。演目は小泉八雲作『耳なし芳一のはなし』でした。生での朗読は出席の皆様も初めての方が多いと思われましたが、朗読の迫力、ライブ感に圧倒されました。ステージが暗いため写真がうまく取れませんでした。『耳なし芳一』の朗読会の雰囲気はかえってお伝え出来たように思われます。演劇部OB有志の皆様ご苦勞様でした。

その後、懇親会に移り同窓会長、学校長の挨拶、体育部OB会会長の乾杯で会員同士が和気藹々の懇親を深めました。当番幹事でありました演劇部・生物部・化学部の会員の皆様ありがとうございました。今年第27回総会は7月19日(金)、当番部は音楽部・吹奏楽部・マンドリン部になります。多数のOB会員の出席を期待しているしだいで。

(幹事長 武田 信博 記)



体育部OB会功労賞受賞者 (敬称略)

陸上部	永田 秀昭(山東19回)	野球	田村 啓(山東21回)	学校関係者	鍋島 洋美
	太田 貴志(山東20回)		会田 稔夫(山東22回)		佐々木聖司
	歌丸 潤(山東23回)		佐川 信一(山東23回)		幸田 禎子
卓球	寺岡 正博(山東26回)	剣道	横山 卓(山東31回)		高橋 俊彦
フェンシング	阿部 和典(山東22回)	バドミントン	永井 悟(山東30回)		井家 勝己

知音ふあいる

若手会員のプロフィール紹介

山川麻衣子(平成24年卒業・栄総会)

私は、山形放送でアナウンサーとして働いています。現在は、夕方のニュースのフィールドキャスターや、県政番組のほか、ラジオの生番組を担当しています。毎日違う現場に赴き様々な人や物と出会う、刺激の多い充実した日々を過ごしています。ありがたいことに、取材先では山形出身だということで親近感を抱き、歓迎してもらえることも多く、それが私自身の強みだと感じています。

高校時代、私は応援団チアリーダー部に所属し、野球、サッカー、バスケットボール、ハンドボールなど、それぞれの試合会場に出向き、精一杯応援してきました。その応援が多少なりとも仲間の力となり、良い結果につながった時や、応援に対して仲間から心から感謝された時は、大きな喜びを感じていました。その経験が、頑張っている人たちを応援したいという強い思いを生み、アナウンサーという職業の選択に結び付いたような気がします。

実際にアナウンサーとして働き感じるのは、日々勉強だということです。メディアで取り上げるものは多岐にわたり、それら一つ一つを視聴者にわかりやすく伝えるには、当然のことながらその事柄についての幅広い知識が必要となります。そのためには情報を集め様々なことを深く調べ、勉強しなくてはなりません。時にはそれを苦痛に感じることもありますが、高校時代で培った勉学への姿勢のおかげで、学ぶ楽しさを感じながら仕事と向き合えることは、本当にありがたいことだと改めて感じています。これからも努力を怠らず、人や物との出会いを大切に山形の今を伝えていきたいと思っています。



各同窓会だより

(順不同)

◇酒田山東会

平成30年度の酒田山東会総会は、母校より佐藤俊一校長先生、そして同窓会より浜田敏同窓会長にご出席いただき、平成30年10月19日に開催されました。今年は鶴岡在住の卒業生にも、わかる範囲でご案内を差し上げたところ、3名の方々にご参加いただき、嬉しい総会となりました。



総会では高橋会長からご挨拶をいただき、その後、浜田同窓会長から同窓会の近況をお話いただきました。今年から本部同窓会が土曜日に開催されることになり、私も幹事学年として参加してきましたが、大変な盛況でした。また、平成26年春の叙勲で高橋修さんが、また今年春の叙勲で木村正明さんが、それぞれ瑞宝双光章を受章されたことが披露されました。お二人とも、受章おめでとうございます。

懇親会では校歌斉唱の後に、佐藤校長先生から母校の近況をお話いただきました。主な進学先や、運動部・文化部の活躍のほかに、今年度から設置された探究科のお話があり、興味深く聞かせていただきました。その後、三沢前会長の乾杯の音頭でにぎやかな酒宴となり、老いも若きも大いに語り合い、各自の近況報告が行われました。最後に「お・勝利」を歌って、エールであつという間に終了となりました。

今回は酒田から16名、鶴岡から3名の計19名が参加し、にぎやかに、楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年もよろしくお祈りします。(幹事長 岡田 恒弘 記)

◇尾花沢支部

支部総会及び懇親会を、11月10日(土)市内「割烹 薬師園」で開催しました。ご来賓に矢野秀弥同窓会副会長、佐藤俊一校長先生をお迎えし、また、大石田支部からも庄司喜興太支部長を始め、3名の会員にご出席いただきました。

総会に先立ち、尾花沢市からの新入生3名の激励会を開きました。今埜充副支部長、会員の菅野真紀氏、そして佐藤

校長先生から激励の言葉があり、記念品を贈呈しました。新入生からは、それぞれ、感謝とこれからの決意についての力強い言葉があり、会員一同、自らの高校時代に思いを馳せたところでした。



今年も、初参加2名の会員を含め、若い会員多数の参加があり、総勢24名での大変賑やかな総会、懇親会となりました。毎年、参加者が増えており、事務局の皆様のご尽力に感謝します。最後は、渡会幸司氏が、周到な準備のもと、高校時代の応援団長になりきって、「お・勝利」で締めました。矢野副会長、佐藤校長先生には、大変お忙しい中、遅い時間までお付き合いをいただきまして、誠にありがとうございました。また、場所を移動しての二次会へもほとんどの会員が出席し、一層親交を深めました。(幹事長 鈴木 欣一 記)

◇上山山形東高同窓会



平成31年1月27日に三木屋旅館において第67回親睦同窓会を28人の参加のもと開催しました。ご来賓として、浜田同窓会会長、佐藤校長、渡辺事務局長をお迎えし、校歌斉唱の後、長谷川浩一氏(山東7回卒)に議長をお願いし、決算など承認いただきました。また、浜田会長のごこれまでの活躍に対する感謝の言葉も寄せられました。

総会後の親睦会では、和やかな時間を過ごした後、来年の再会を誓って散会となりました。(江口 敏昭 記)

◇寒河江支部

平成30年11月17日の土曜日、寒河江市内のこころの宿一龍において平成30年度の山形東高等学校同窓会寒河江支部の総会が行われた。総会後の講演会では講師に山形市森谷大佛堂の森谷寛氏(山東17回・六七会)(体育部OB会長)をお招きし「山形の伝統的工芸品、仏壇と神輿について」という演題で講演を行った。森谷氏の講演はユーモアがあり大変興味深い内容であった。古事記にまつわる内容から現代の青少年の問題提起まで中身の濃い内容で、1時間では短くて会員

山東高同窓会事業報告

平成30年

- 4月6日 事務局会議
事務局構成・業務分担
- 4月8日 平成30年度入学式(学校)
- 4月20日 同窓会報第70号発行
- 4月27日 会計監査
- 5月11日 第1回役員会
平成29年度事業報告・決算
奉公旗修復作業費決算
監査報告
平成30年度事業計画・予算
- 5月24日 山形市役所東高会総会
- 6月4日 第1回役員三役会
- 6月19日 第1回山形県庁東高会総会
- 7月2日 第2回役員三役会
- 7月5日 全国大会出場選手激励会
- 7月12日 米沢支部総会
- 7月20日 文化部OB会総会
- 7月21日 山中山東東京同窓会懇親会
- 8月22日 第2回役員会
役員改選
平成30年度同窓会総会・表彰式・まつり

- 8月31日 第1回評議員会
第1回・第2回役員会と同じ内容
- 8月31日～9月2日 山東祭(学校)
- 9月1日 「30歳になったら東高に帰ろう」
ホームカミングデー 瑞雪会
- 10月13日 同窓会総会・表彰式・まつり
- 10月19日 酒田山東会総会
- 10月27日 河北山東会総会
- 10月29日 創立134周年記念式典(学校)
- 10月30日～11月1日 奉公旗展示会
- 11月3日 関西山中山東同窓会総会
- 11月7日 仙台同窓会総会
- 11月10日 尾花沢支部総会
- 11月13日 東根支部総会
- 11月17日 山中山東東海同窓会総会
寒河江支部総会
- 12月1日 山辺支部総会
- 12月8日 栃木県支部総会
- 12月20日 松田杯等四賞授与(学校)

平成31年

- 1月19日 大石田支部総会
- 1月27日 上山山形東高同窓会親睦総会
- 2月2日 体育部OB会総会

- 2月9日 山形市歯科医師会山東会総会
- 2月8日 第3回役員会
平成30年度補正予算
平成31年度事業計画・予算
平成30年度まつり決算・総括
平成31年度まつり日程
- 2月15日 山東教育後援会へ寄付金贈呈
第2回評議員会
第3回役員会と同じ内容
- 2月19日 第2回山形県庁東高会総会
- 3月1日 同窓会入会式
平成31年卒山東69回 成節会
- 3月3日 平成30年度卒業式(学校)
同窓会特別賞授与
- 3月9日 まつり引継会



修復された奉公旗

からはまた続きをお願いしたいとの声も多かった。その後の懇親会では同窓会本部より佐藤松兵衛副会長、母校より丹野学教頭先生が来賓として参加され盛況に行われた。最後に元応援団長の小松副支部長の指揮で「おゝ勝利」の大合唱を行い閉会した。(石川 隆 記)



き、隔世の感を持った方もおられたようです。東根市は、今年市制60周年を迎えましたが、本市出身の同窓生の方々が市内外でご活躍のことと思います。ぜひ、支部同窓会にも気軽に参加いただきますようお願いいたします。懇親会では、音楽部出身で支部副会長の矢萩健藏氏の指揮で校歌を斉唱し、会員それぞれが学生時代の思い出を語りながら懇親を深めました。最後は、元応援団長の保坂淳幹事のエールで応援歌「おゝ勝利」を歌い、改めて同窓の絆を確認することができました。(幹事長 浅野目 勇 記)

◇山形市役所東高会

山形市役所東高会は会員総勢142名が一丸となり、市勢発展のため、日々奮闘しております。さて、当会では会員相互の親睦を図るため、毎年、総会と新年会を開催することとしております。

昨年5月24日に開催した総会では、丹野教頭先生、浜田同窓会長、渡邊同窓会事務局長からご臨席を賜り、母校の活躍や同窓会の近況を伺いながら、時間の経つのも忘れ大いに盛り上がりました。



また、今年1月31日開催した新年会では、今年度をもって退職される会員の方を囲み、思い出話に花を咲かせました。これらを通じて、会員同士の絆をさらに深めたところであります。(庶務幹事 多田 進一 記)

◇山形県庁東高会

山形県庁東高会は、会員数294名で運営され、会員相互の親睦を図るとともに、母校への支援活動を行っております。

毎年、2回の定期総会を開催しており、平成30年度は、山形市内のホテルにおいて、6月19日に第1回総会、2月19日に第2回総会を開催いたしました。総会は、校歌斉唱にはじまり、ご来賓の方々からご祝辞をいただき、また、母校への支援活動の一環として部活動奨励費等を平山雅之会長から贈呈させていただきました。引き続き懇親に入り、酒肴を囲んで懇談し、旧交をあたためたところです。最後に「おゝ勝利」を謳い上げ、万歳三唱を行い、散会いたしました。(事務局長 白田 恭平 記)

◇東根支部

東根支部の平成30年度同窓会が11月13日(火)に同窓会本部の浜田会長、佐藤校長先生をお迎えし、会員28名の参加を得て、東根温泉花の湯ホテルで開催されました。

浜田会長は、ご挨拶の中で本年度いっばいで同窓会長をご勇退される旨のお話がありました。長年のご労苦に敬意を表しますとともに、東根支部にも毎年ご参加いただきましたことに感謝を申し上げます。

同窓会長、学校長からは母校の近況について報告があり、現在の男子生徒と女子生徒の比率がほぼ半々であることを聞

◇東京同窓会

東京同窓会は関東甲信越に居住する卒業生及び縁故者で構成され、山東母校の隆盛を念とし、会員の親睦を図ることを目的として活動しています。今年7月の総会・懇親会には250余名が参加し、夏の山形の味覚を取り揃え、大いに盛り上がりました。8月には在校生2年生の首都圏企業研修・大学訪問を支援しました。10月には都内水元公園で芋煮会を行い、50名が4班に分かれて独自の芋煮をつくり味覚を楽しみました。詳しくは <http://uzen33.net> または「山形東高東京同窓会」で検索してホームページをご覧ください。(会長 金井 浩一郎 記)

東友会

月例会「三水会」が500回を突破

昭和54年、故松木清、角田不三雄両先生の古希祝い準備会を重ねる中で、月例の同期会をもとう、という話が出て、すぐ合意。毎月第三水曜日とし、「三水会」と命名して発足したのであった。



途中「五水会」も開いた時期があったので、約40年で500回を迎えたのである。第500回記念

会は9月19日、例会場の花小路・浜なす分店で、初めて山形舞子を招き、正午開会。この様子は「山形新聞」(9月25日号)に写真入りで大きく紹介された。500回という回数には自分たち自身も驚いている。

学制改革のお蔭で山形中学から一高、東高と6年間在学。中高一貫の6年間の絆は固い。あの松木先生に6年間も可愛がられた、という点でも他に類例がない学年である。(三水会幹事 記)

安達峰一郎生誕150年記念シンポジウム

～よみがえる安達峰一郎 世界が賞賛した国際人に学ぶ～

安達峰一郎博士は、1869年山形県山辺町に生まれ、山形中学・山形東高の前身である山形師範学校中等部第1回生校友であり、第1次世界大戦前後、「世界の良心」と謳われました。

ポーツマス会議では日本の国益を代表する外交官として交渉に臨み、国際連盟では日本代表として会議の議長を務め、常設国際司法裁判所ではアジア人初の長官として正義の実現を目指した安達峰一郎。1934年、オランダ国にて永眠、オランダ国家は国葬の礼をもって、常設国際司法裁判所では同所葬をもって功績が称えられました。

生誕150年を迎える本年6月、その実像と意義を明らかにするシンポジウムを開催いたします。国際協調にもとづく平和を希求した安達の思想と行動を読み解き、混迷する近時国際社会への示唆を浮き彫りにします。

【シンポジウム要領】

- ◆日時 / 2019年6月15日(土) 13:00 ~ 16:30
- ◆会場 / スクワール麴町「錦華の間」
(JR線・東京メトロ「四谷駅」から徒歩1分)
- ◆プログラム / (公財)安達峰一郎記念財団
HP <http://m-adachi.or.jp/>にて2019年1月発表。
- ◆申し込み・お問い合わせ先 /
(公財)安達峰一郎記念財団
FAX: 03-3341-5063 TEL: 03-3341-5036

◇大石田支部

センター試験1日目に開催が定着した恒例の本支部総会が平成31年1月19日に行われました。時節柄、雪降ることが多いのですが、星空を眺めることのできる穏やかな晩になり、総勢21名が「手打ち大石田そばきよ」に会しました。ご来賓に浜田敏同窓会長、佐藤俊一校長先生をお迎えし、また、尾花沢支部より富士盛良一支部長、星川薫事務局長、三坂真治副事務局長にご出席いただきました。



総会では、空席だった支部長に庄司喜興太氏、副支部長に高桑健太郎氏、布川元氏が選出されました。また、浜田会長より山東生に毎年語っていらっしゃる「勉強の2つのコツ」、佐藤校長先生からは母校の近況をお話ししていただきました。

その後、「新そばを食う会」と称したにぎやかな酒席となり、大いに語り合い、参会者全員の近況報告が行われました。2時間30分が瞬間に過ぎ去り、応援歌「おゝ勝利」を歌い、エール、万歳三唱を行い、母校のますますの発展と、参会者のご多幸を祈り、盛会のうちにお開きとなりました。

(横山 峰浩 記)

◇河北支部



平成30年度の河北支部総会は、町内の「紀の代寿司本店」にて10月27日に開催され、役員改選では鈴木明朝氏が会長に再任されました。

その後の懇親会では、ご来賓に同窓会本部の

浜田会長と母校の佐藤校長先生をお迎えし、会員の近況や高校時代の思い出話を花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おゝ勝利」を合唱し、散会いたしました。

(事務局 古澤 広喜 記)

◇米沢支部

米沢支部総会7月12日夜、米沢市内のホテルで開催され、浜田敏同窓会長、佐藤俊一校長を来賓としてお迎えし、参加者45名の盛会となりました。



総会に先立つ恒例の講演会では、『衛生学からの贈り物』と題し、昭和48年卒の粕川俊彦氏(医療法人かすかわ醫院志也会 院長)から、体内の水、環境の水、飲み水、アルコールと水の功罪など、衛生学、水と健康についてお話いただきました。

懇親会は昭和33年卒の長谷川平内先輩の乾杯で開宴し、伊藤 和夫元校長、菅間裕晃元校長から近況や思い出などを楽しく拝聴し、また、恒例の全会員による近況スピーチを交え、懐かしくかつ有意義なひと時をご一緒に過ごすことができました。

(支部長 小関 清夫 記)

◇山形市歯科医師会山東会

平成31年2月9日(土)山形市歯科医師会山東会総会・新年会が開催された。西村会長と同期の東哉会、パレスグランド専務取締役 笹島洋二様のご高配により、会場はオワゾブルーカフェ「TREE」。まず「街なかウェディング」で評判のオワゾブルー山形館内をご案内戴いた。東北初のシビルウェディング専門式場で宗教色が無く、会場は非常に明るくきれいでコンパクト。会員からは、ここでもう一度結婚式を



挙げたいという声も上がった。(勿論今の奥様とであります。)また、これからの人生のイベント、終活に関する資料も準備して頂き人生に思いを馳せた。その後はおいしい料理と飲み放題のワインとお酒で懇親を深め、有志は二次会へと流れた。

(副幹事長 清水 一衛 記)

平成31年度

ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」



◆平成30年度ホームカミングデーに参加して
山東56回 端雪会 武田 弘幸

和成会のみなさんへ 30歳の記念に母校を訪問し、荒川和幸学年主任をはじめとした恩師や仲間と楽しい再会のひと時を過ごしてみませんか。みなさんの参加を、お待ちしております。

- ◆ 日 時：平成31年8月31日(土)
山東祭の一般公開日/午後3時より
- ◆ 会 場：山東会館食堂
- ◆ 参 加 者：和成会(山東57回)・学年の恩師
- ◆ 内 容：若手学年支援費の贈呈・近況報告・懇談
- ◆ 申 込：8月10日(土)まで同窓会事務局へ

山東祭で賑わう懐かしい母校の風景を眺めた後、山東会館で同級生の仲間と恩師に再会しました。12年の年月がたっても顔を合わせればすぐに高校時代に戻った感覚がしました。ただ当時とちがうのは私たちの手元にはお酒があること。それを交わしながら、高校時代の思い出や卒業してから各々が歩んだ道について語り合いました。恩師のあたたかい言葉も心に沁み、和やかで楽しいひとときを過ごしました。今年、新元号になってホームカミングデーを迎えるのは和成会(平成19年卒)の皆様。懐かしい人たちと再会できるこの機会にぜひ母校に足を運んでみては如何でしょうか。最後に、私たちのホームカミングデーを盛り上げてくださいました恩師や事務局の皆様、本当にありがとうございました。

◇山辺支部



山辺支部の総会及び懇親会を12月1日に町内の「寿司政」において、浜田敏会長及び佐藤俊一校長を来賓に迎え会員20名の参加のもとで開催しました。山辺支部も高齢化の波により年々参加者が減少傾向にあったところ、昨年度の総会で伊東信会長を選出してから新会員の獲得に向けた取り組みのかいもあって、新たに5名の入会となりそのうち4名が総会に参加となりました。若い会員の参加ということもあり、例年以上になごやかで活気ある総会、懇親会となりました。最後に今回で退任なされる浜田同窓会会長に伊東会長から熱いエールもあり、閉会となりました。(幹事長 宗田 一彦 記)

◇栃木県支部

栃木県支部は栃木県及び茨城県北部の方を会員としています。

今年も昨年同様12月に総会を実施しました。今年も体調不良者が相次ぎ、3名のみでの参加となりました。



総会では鏡さん(東高10回)を(前)塩野会長・矢吹副会長新規に副会長に選出し、塩野会長(後)武田事務局

(一高2回)/矢吹副会長(東高6回)/武田事務局(東高17回)佐藤会計(東高17回)の幹事で今後とも継続的に活動します。

懇親会では矢吹副会長より寄贈いただいた、山形の幻の銘酒十四代をいただきながら、楽しいひと時を過ごしました。次年度は秋に総会を実施する事を目指して半年後に幹事会を開催して総会の日程を決めていきたいと思っています。

多くの方に出席していただけるように希望しています。

(事務局長 武田 康夫 記)

◇仙台同窓会

来賓に同窓会本部の浜田会長と母校の佐藤校長先生をお迎えし、仙台同窓会総会を開催いたしました。総会では大山会長(山東12回)を議長に、会務報告、会計報告、役員改選と滞りなく議事を終えることができました。引き続き開催された懇親会では、お酒を酌み交わしながら高校時代の思い出話で盛り上がり、来年度の総会には、母校の校章を準備してほしいとの要望もいただきました。その後、恒例となった出席者全員参加のじゃんけん大会を行い、最後は校歌を斉唱し、盛会のうちにお開きとなりました。



者全員参加のじゃんけん大会を行い、最後は校歌を斉唱し、盛会のうちにお開きとなりました。

(五味 孝志 記)

◇関西山中・山東同窓会

当会は、11月3日(土)にご来賓として同窓会本部の浜田会長、母校の佐藤校長先生、山形県大阪事務所の黒田所長をお迎えし、ホテルグランヴィア大阪で総会・懇親会を開催しました。

浜田会長には8年間のご支援に深く感謝申し上げますとともに、今年から「探究科」を設置され新たな取り組みを始動された佐藤校長先生に全員で激励いたしました。

また、兵庫県にお住まいで89歳の渡部盛雄さん(山中60回、昭和22年卒)から、終戦直後の昭和21年夏の甲子園全国大会に山形中学野球部(渡部さんが主将)が、山形・宮城・福島3県の代表として出場されたというお便り、今年で全国大会100回目の節目に朝日新聞社からのご招待で遠路山形大会の開会式に駆けつけたときの新聞記事などを郵送いただき、全員で先輩の偉業をたたえとともに母校の伝統を再認識しました。

懇親会では山形地酒を堪能しながらお互いに近況を語り合い大いに盛り上がる中、今回は2019年11月16日(土)と決定。全員で再会を誓い合い、盛会のうちにお開きとなりました。

(幹事長 杉沼 寛善 記)



◇山中・山東東海同窓会

秋の気配が濃くなる平成30年11月17日(土)に、恒例の「山中・山東東海同窓会 総会・親睦会」を開催しました。

今年も来賓として、同窓会本部から桂木幹事長・母校からは佐藤校長先生・山形県名古屋事務所から早坂所長及び東海山形県人会から松山副会長のご臨席を頂き総勢24名の出席で和やかに開催されました。

母校の現況や県事務所及び県人会の活動を説明頂き、参加者皆が有意義な時間を共有する事が出来ました。

佐藤校長先生と同期の横尾英博君、佐藤先生が2年生の担任教諭であった平3年卒の佐藤義晃君の参加が有り、昔を振り返り楽しい話が出来たようです。

今回は新人として3名が参加してくれました。昭52年卒の横尾英博君・平7年卒の結城豪君・平8年卒工藤雅彦君の3名です。若手の参加で会も盛り上がりました。又、支部活動にも協力して頂けるとの了解も頂き支部活動の一層の活性化も期待できそうです。



次回、平成31年(2019年)の支部総会は11月23日(土)に開催します。この会報をご覧の皆さん、是非支部活動に協力と支部総会参加をお願いします。(副会長 酒井 和義 記)

第69回卒業会名

せい せつ かい 成 節 会

【命名の由来】

せつぶつふうこうあいま ろしやうりん ちやうあんこい 節物風光相待たず。(盧照鄰「長安古意」)

旧世紀と新世紀を跨いで生まれた我々は、再び黎明を迎えようとしている。平成と、来たる新たな時代との節目である。急速に移り変わる世の中であって、変わらないものはそう多くはない。しかし、共に学んだこの歳月は、いつまでも心に在る。

今、134回目の卒業生として誓いを立てる。激動に身を置いてなお、節義を守り大成するために。その前途を祈念し「成節会」と命名する。

発案者 伊藤 秀峻



新評議員・安達良光(左から2人目)と各クラスの代表

職員動向

本校に係る平成30年度末の人事異動をご報告します。

転出者(敬称略)

- 阿部久美子(英語・16年)ご退職
齊藤智昭(地歴・15年)ご退職
荒川和幸(国語・16年)寒河江高校へ
鈴木誠(英語・16年)山形南高校へ
布施チヨ(保健体育・13年)山形北高校へ
佐藤信敬(数学・6年)山形工業高校へ
布施弘好(芸術・5年)教育センターへ

- 藤野恵美子(芸術・1年)ご退職
鈴木孝志(地歴・1年)長井工業高校へ
佐藤多恵(理科・1年)置賜農業高校へ(新規採用)
松浦るみ子(養護教諭・10年)ご退職
片桐利章(事務部次長・3年)山辺高校へ

転入者(敬称略)

- 寺崎昌尚(国語)山形南高校より
河野崇(地歴)寒河江高校より
齊藤智昭(地歴)再任用として
御船悠(地歴)寒河江高校より

- 村田崇(数学)長井高校より
小関由里子(理科)上山明新館高校より
仁藤誠(保健体育)山形中央高校より
丸山あき子(芸術)米沢興譲館高校より
山口杏奈(芸術)霞城学園高校より(新規採用)
榎理恵子(芸術)南陽高校より
佐竹香織(英語)左沢高校より
富澤美穂子(英語)上山明新館高校より
長岡奈保子(養護教諭)山形北高校より
富樫知佳(実習講師)酒田光陵高校より
村上温子(事務部次長)監査委員事務局より



お梅やみ

同窓会報70号掲載以降~平成31年3月31日までに判明した方々です。謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成27年

- 3月4日 佐々木良一郎氏(山中49回)
5月15日 大内明氏(山東24回)

平成28年

- 12月2日 大和田(阿部)しづ子氏(山東1回西)

平成29年

- 1月14日 田中正雄氏(山東1回)
1月29日 鈴木満氏(一高2回)
3月31日 後藤(阿部)英二氏(山中56回)
6月30日 武田匡平氏(山中58回)
7月15日 富樫辰夫氏(山中59回)
7月17日 松谷裕之氏(山中57回)
7月23日 伊藤慧氏(山東12回)
8月22日 吉松靖氏(山中57回)
8月29日 鈴木英昭氏(山東4回)
8月13日 佐藤健氏(山東3回)
10月6日 今野衛司氏(山東2回)
11月2日 菅井武伯氏(山東6回)
11月30日 中川久氏(山東2回)
12月2日 齋藤勝信氏(山中58回)

平成30年

- 1月2日 小倉健滋氏(山中61回)
1月14日 岡崎(押野)稔氏(山中54回)
2月4日 伊藤(伊藤)昭子氏(山東1回西)
3月18日 高橋勝三氏(山中48回)
3月19日 石黒勝浩氏(山東13回)

- 3月26日 松本計美氏(山中58回)
3月26日 小野善彦氏(山中23回)
4月2日 遠藤和夫氏(山東1回)
4月2日 高瀬恒氏(山東3回)
4月3日 清原英定氏(山東3回)
4月3日 菊地正邦氏(山東9回)
4月11日 長谷川友一氏(一高2回)
4月11日 永岡祐一郎氏(山東13回)
4月18日 青山憲司氏(山中59回)
4月25日 富樫(飯野)和夫氏(山東15回)
5月1日 渡部正一氏(山東10回)
5月20日 田中(西村)昌子氏(山東8回)
6月18日 草刈昭雄氏(山東4回)
6月24日 大江健氏(山東4回・評議員)
6月29日 菅野武氏(旧職員)
6月29日 高橋(遠藤)日出子氏(山東1回西)
7月1日 山口健治氏(山東2回)
7月6日 毛利健治氏(山中52回)
7月7日 岩瀬寛氏(山中58回・元評議員)
7月19日 岸利雄氏(一高2回)
8月2日 細矢隆之氏(山東21回)
8月13日 多田實氏(山東2回)
8月13日 佐藤健氏(山東3回)
8月21日 佐藤寛介氏(山中60回)
8月24日 渡辺惣兵衛氏(山東8回)
8月31日 菅井孝昌氏(山東8回)
9月7日 志藤賢次氏(山東2回)
9月14日 伊藤博氏(山中57回)
9月17日 小野寺(山本)司朗氏(山東17回)
9月21日 伊藤光弥氏(山東2回・旧職員)
9月21日 西川孝雄氏(山東10回)
10月8日 三浦邦彦氏(山中59回)

- 10月11日 金森晋介氏(山東1回)
10月18日 高橋(柏倉)雅子氏(山東2回西)
10月20日 阿部善彦氏(山中61回)
10月23日 片桐茂氏(山東21回)
10月27日 佐藤直己氏(山東34回)
11月23日 大木猛氏(山中58回)
11月25日 栗原貞夫氏(山中60回)
12月3日 堺清一氏(山東7回)
12月7日 荒木一氏(山中60回)
12月8日 石井千佳子氏(山東58回)
12月11日 三浦玄太郎氏(山東5回)

平成31年

- 1月9日 飛塚輝雄氏(山中58回)
1月10日 浅野善助氏(山中56回)
1月11日 松田隆一氏(山東8回)
1月12日 会田勝彦氏(山中61回)
1月15日 大原正彦氏(山東23回)
1月19日 鈴木(鈴木)弘子氏(山東4回西)
1月31日 田中恒一氏(山中56回)
2月1日 開沼茂氏(山中57回)
2月9日 森茂氏(山東5回)
2月10日 伊藤栄一郎氏(山東16回)
2月13日 二藤部陽一氏(山東8回)
2月24日 黒沢幹雄氏(山東1回)
2月24日 富樫健一氏(山東1回)
3月1日 土屋正一氏(山中56回)
3月2日 田中正一氏(山東8回)
3月14日 中村達久氏(山東3回)
3月16日 丹野善一氏(山東2回)
3月27日 渋谷忠氏(一高2回)

慶 祝

(同窓会報70号掲載以降~平成31年3月31日まで)

平成26年

- 4月29日 瑞宝双光章
高橋修氏(山東13回)

平成29年

- 10月23日 三浦記念賞
奥山清行氏(山東28回)

平成30年

- 4月29日 旭日小綬章
柿崎喜世樹氏(山東16回)
瑞宝小綬章
石塚雅一氏(山東14回)
旭日双光章
奥山俊氏(山東14回)
瑞宝双光章
木村正明氏(山東13回)

7月1日

- 瑞宝双光章

10月22日

- 藤島幸雄氏(山中61回)

11月3日

- 三浦記念賞
後藤完司氏(山東17回)
旭日中綬章
松山龍二氏(山東8回)
旭日小綬章
徳永正観氏(山東10回)

- 瑞宝双光章
竹谷喜文氏(山東17回)
山形県産業賞
長谷川吉茂氏(山東18回)

山東奨学会

(平成30年4月1日~平成31年3月31日まで)

平成30年

- 5月11日 第12回理事会
平成29年度事業報告、決算の承認
理事・監事候補者の選任
6月11日 第5回評議員会
平成29年度事業報告、決算の承認
理事・監事・評議員の選任
6月26日 第13回理事会
理事長・常務理事の選定

平成31年

- 2月21日 第14回理事会
平成30年度事業経過報告
平成30年度補正予算の承認
平成31年度事業計画、予算の承認
特定資産運用基本方針の修正について
3月 奨学生審査会
3月29日 奨学金贈呈式
2名に贈呈

篤志寄付

(同窓会報70号掲載以降~平成31年3月31日まで)

平成30年

- 3月22日 山東奨学会 100万円
和泉典子氏(山東41回)
5月24日 図書購入費 10万円
探究活動支援費 10万円
山形市役所山東会
12月10日 東四会40周年記念誌
『あ、我が紅顔』表紙等の原画
細梅久彌氏(旧職員・山中44回)作15点
東四会

平成31年

- 2月15日 教育後援会へ寄付 110万円
山形東高同窓会
2月19日 教育奨励費 20万円
山形県庁東高会
(部活動費10万円、図書購入費5万円、奨学会基金5万円)
3月3日 山東奨学会への寄贈 15万円
東京同窓会懇親会における有志寄付
山形中学・山形東高東京同窓会
3月8日 傘寿祝・卒業60周年記念
映像ブルーレイディスク1枚 東八会

平成31年度 同窓会役員

役員表: 会長 高橋 一夫, 副会長 矢野 秀弥, 幹事 高橋 修, 副幹事 高橋 宣均, 監事 伊勢 和正, 事務局長 渡辺 季子

顧問表: 濱田 敏 (第10代会長), 遠藤 來二 (第29代校長), 日野 正 (第33代校長), 木村 宰 (第34代校長), 山川 博史 (第35代校長), 佐藤 敏彦 (第36代校長), 伊藤 和夫 (第37代校長), 勝見 英一朗 (第38代校長), 相馬 周一郎 (第39代校長), 渡部 泰山 (第40代校長), 柳谷 豊彦 (第41代校長), 菅 裕晃 (第43代校長)

相談役表: 森谷 寛 (体育部OB会長), 吉田 眞一郎 (文化部OB会長)

評議員表: 山中55回 昭南会 設 樂 隆, 山中57回 御橋会 大 築 勘一郎, 山中58回(4) 銀河会 西 村 久 男, 山中59・60回 太平会 佐 藤 良 助, 山中61・高1回 六一会 志 村 宗 孝, 山中62・高2回 ふたば会 野 成 行, 山東1回 東一会 木 村 雅 一, 山東2回 東友会 登 坂 光 雄, 山東3回 東三会 伊 藤 貞 夫, 山東4回 東四会 阿 部 諒 悦, 山東5回 古稀会 大 串 喜 久 雄, 山東6回 六翠会 小 松 公 博, 山東7回 一行会 真 田 宗 厚, 山東8回 東八会 深 瀬 智, 山東9回 東鳩会 伊 藤 光 一 郎, 山東10回 東濤会 逸 見 誠 司, 山東11回 東土会 斎 藤 啓, 山東12回 東睦会 井 上 伸 一, 山東13回 三山会 秋 葉 正 彦, 山東14回 龍雲会 大 場 敏 男, 山東15回 笑龍会 宇 治 川 幸 雄, 山東16回 竹馬会 多 田 一 夫, 山東17回 六七会 川 越 進, 山東18回 東哉会 伊 藤 俊 夫, 山東19回 龍雲会 滝 口 義 則, 山東20回 翠鸞会 千 歳 毅, 山東21回 四六会 後 藤 誠 一, 山東22回 主一会 大 築 裕 信, 山東23回 志也会 佐 藤 幸 藏, 山東24回 東翼会 高 橋 穰, 山東25回 九重会 齋 藤 篤, 山東26回 互一会 野 口 祐 三 郎, 山東27回 東紋会 小 関 一 哉, 山東28回 天馬会 伊 藤 三 之, 山東29回 共一会 江 袋 一 宏, 山東30回 東翔会 浅 黄 敬 之, 山東31回 五六会 児 玉 克 也

評議員表 (續): 山東32回 槌音会 鐘 水 功 泰, 山東33回 繼世会 村 形 弘 也, 山東34回 双鸞会 小 林 直 樹, 山東35回 百東会 荒 木 秀 一, 山東36回 彗號会 赤 井 芳 賀 寿, 山東37回 鴻紀会 青 小 秀 之, 山東38回 東龍会 小 嶋 寬 之, 山東39回 魁成会 鈴 木 清 晃, 山東40回 東駿会 高 橋 祐 史, 山東41回 翔洋会 吉 村 和 武, 山東42回 志成会 米 本 泰, 山東43回 東鵬会 今 野 誉 康, 山東44回 東阜会 進 藤 義 悦, 山東45回 百珠会 黒 沼 芳 覺 樹, 山東46回 東玲会 高 梨 洋 平, 山東47回 東凌会 阿 部 和 宜, 山東48回 天成会 峯 田 一 史, 山東49回 東珀会 丹 野 一 史, 山東50回 雙紀会 佐 竹 め ぐ み, 山東51回 東暁会 佐 竹 秀 文, 山東52回 東愛会 大 沼 達 朗, 山東53回 東魂会 鈴 木 貴 博, 山東54回 東粹会 佐 々 木 健 晴, 山東55回 東節会 山 川 晃 広, 山東56回 瑞雪会 武 田 弘 幸 夫, 山東57回 和成会 小 林 広 軌, 山東58回 重友会 伊 藤 大 地, 山東59回 結昇会 武 田 大 伸, 山東60回 六黎会 阿 部 龍 海, 山東61回 勢翔会 高 橋 裕 也, 山東62回 栄繼会 伊 藤 佑 一 郎, 山東63回 六三志会 松 永 和, 山東64回 天晶会 桂 木 悠 希, 山東65回 勲東会 結 城 龍 馬, 山東66回 東緑会 大 沼 池 類, 山東67回 東棟会 菊 池 終 斗, 山東68回 讚燦会 池 上 航 大, 山東69回 成節会 安 達 良 光

地域・職域同窓会

地域・職域同窓会表: 同窓会名, 会長・支部長, 事 務 局, 連絡先 (電話番号)

戦中から戦後にかけての山東の思い出

さとう たかお
佐藤(田中) 孝男 氏

1931年(昭6)山形市飯塚生まれ。1950年(昭25)山形一高2回卒・ふたば会。1954年(昭29)東北大学経済学部卒業後、同年山辺町佐藤家に結婚入籍。元山形県ニット工業組合理事長。同窓会山辺支部副支部長を15年、支部長を15年務め、2011年(平23)山形東高校同窓会功労賞を受賞。87歳。



二中(南高)との総合選抜

山形中学入学のきっかけは、叔父の田中真左志さん(昭9・継久会)が東大に、田中真左男さん(昭13・八紘会)が慶大に入った姿を見てたから。面接・口頭試問の後、体育館で「攀登棒」をのぼる試験もあった。学力と同じく体力も重視される時代だったね。山中と二中に、成績順に均等に振り分けられて入学した。入学したというよりも、俺たちは振り分けだから自分の意志でなくて引っ張られて来た〜。(笑)

振り分けのおかげで、学校が違っても一高「ふたば会」と二高「19年組」とは仲が良くて。野球したりバスケットしたり、張り合っていたのが、東南定期戦の始まりかな。

「なんぼ歩いたんだがあの頃は」

当時から身長が180センチもあって、学校に通うとき、27センチの革靴なんか買ってもらえなくて、下駄だったからなお大きく見えた。飯塚から学校まで毎日、往復8キロを歩いた。自転車なければバスもない、そういう時代だったから。食べ物もなくて、学校の授業でも野球場の下にゴロゴロ埋まっていたおっきな石を掘り出して、畑にして豆を植えた。それから、蕎麦を植えに西蔵王の羽竜沼の近くまで歩いたし、勤労動員に駆り出されて飛行場つくり、漆山あたりまで歩いた。学制改革で山中から一高になって6年間も在学したけど、毎日とにかく歩いたなあ。(笑)

在学当時の思い出あれこれ

○恐怖の「忠告会」

講堂の満座の前で、先輩が、4、5人くらいの後輩を名指しで「お前、彼女と歩いてたな！戦争中にもってのほかだ！立ってろ！」とか、生徒による生徒指導があった。私はされたことないよ。(笑)

○戦後初の甲子園出場

地区大会も県大会も東北大会も、なんと決勝戦は山形工業と。今のところ、戦後としては一回の出場にめぐり合わせて、「西宮大会」に連れて行っていただいた。忘れられない思い出です。

○河田先生の結婚式

最後の年に、河田(会田)利夫先生(山中56回・第6代同窓会長)が体操の先生としてお見えになった。先生が護国神社で結婚式

挙げるというので、授業をさぼって見に行った人がいた。河田先生は馬見ヶ崎川上流の関沢のご出身で、柔道では「関沢の猛者」と呼ばれた強者で、生徒たちと年も近く慕われていました。

○バレーボール部にスカウト

入部は卒業の年。クラスマッチでバスケ、バレーに引っ張られていたのが部員の目に留まり、しごかれた。今と違って、9人制、屋外のコートでの練習なので、着込んでも、膝とか脇下とか擦りむいて。国体予選が最初で最後の試合。以来ずーっとバレー部の先輩だ〜と言われて、後輩にしよっちゅう寄付ばかり集められて。俺1ヶ月くらいしか籍ないんだけど、と言ってもだめだっけ。(笑)

農家に生まれて

農家に生まれた男兄弟6人が山東。でき悪いのが6人雁首そろえて「入学する時は表門、卒業はこっそり裏門より」東高を通って行った、って書いてもらえれば。(笑)学校で一緒になったのはすぐ下の弟(三男・忠男氏)とだけ。私が入った時、兄貴(長男・蔵男氏)は4年だったんだけど、群馬県館林に学徒動員で引っ張られて戦闘機「銀河」をつくって、そこで戦時中の特別措置で繰上げ卒業になった。

跡を継いだ兄貴はじめみんな、小さい時から農作業を手伝った。農家の子供たちは、それが当たり前。農家で大学まで出すというのはいくら農地があっても足りない。叔父さんたちも、家族に苦勞かけてるから、といつも手伝っていた。そういう姿を見てるから、「大学を出してもらおうこと」「分家させてもらうこと」と同じくらい負担かけることなんだという考えは、頭にしみついてたなあ。

叔父がくれるお年玉はピン札！子ども心に、俺も経済学部に行って、銀行勤めをして、と憧れて東北大学の経済学部に進んだけれど、卒業前に結婚話が来て、田舎の小さくても会社の社長の方がいいかな〜と方向転換。結局、「不」経済学部に行ってきたすということ。(笑)

東高・後輩へ望むこと

今や半数が女子。やっぱり女の子の方が頭の質がいいのかもしれないが、男は一生懸命がんばれ。

貴重なお話を、誠にありがとうございました。

聞き手：井上 朋子(天成会)



ご兄弟「飯塚の七福神兄弟」
田中蔵男(S20・銀河会) 逝去
佐藤孝男(S25・ふたば会)
田中忠男(S28・東三会) 逝去
田中文雄(S32・一行会)
田中靖男(S34・東鳩会)
武田賀代子(山形西高卒)
田中良雄(S39・龍雲会)
(敬称略)

編集後記

同窓会報第71号が出来上がりましたので、お届けいたします。長い年月風雨に耐え、私たちに季節の移り変わりを示してくれたグラウンド脇の柳の木が、その役割を終えて伐採されました。(写真はその柳の木)そして今、平成が終わり、新元号がスタートしようとしています。山形東高も探究科設置により新しい時代へと向かいます。今後の後輩の活躍にご期待ください。

工藤 淳(継世会) 井上 朋子(天成会)

